関市型ダンボールコンポスト

NEW

グリーンダンボくん

取扱説明書

環境ネットせき
関　市

Ⅰ．はじめに

一般の家庭から排出される「燃せるごみ」のうち、約 30%～40%は厨芥類と呼ばれる野菜くずなどの「生ごみ」と言われています。

ダンボールコンポストは、家庭でできる生ごみ減量として、手軽で簡単に取り組むことができます。

Ⅱ．入っているもの

- 器材（ダンボール製）…本体、蓋、脚（脚は、使用状況に合わせてお使いください。）
- 母材…腐葉土+くん炭　**※ビニール袋は虫の駆除の際に使うので捨てないでください。**
- 手作り虫よけ布キャップ
- 取扱説明書（本書）
- アンケート用紙（返信用封筒あり）

Ⅲ．作ってみよう

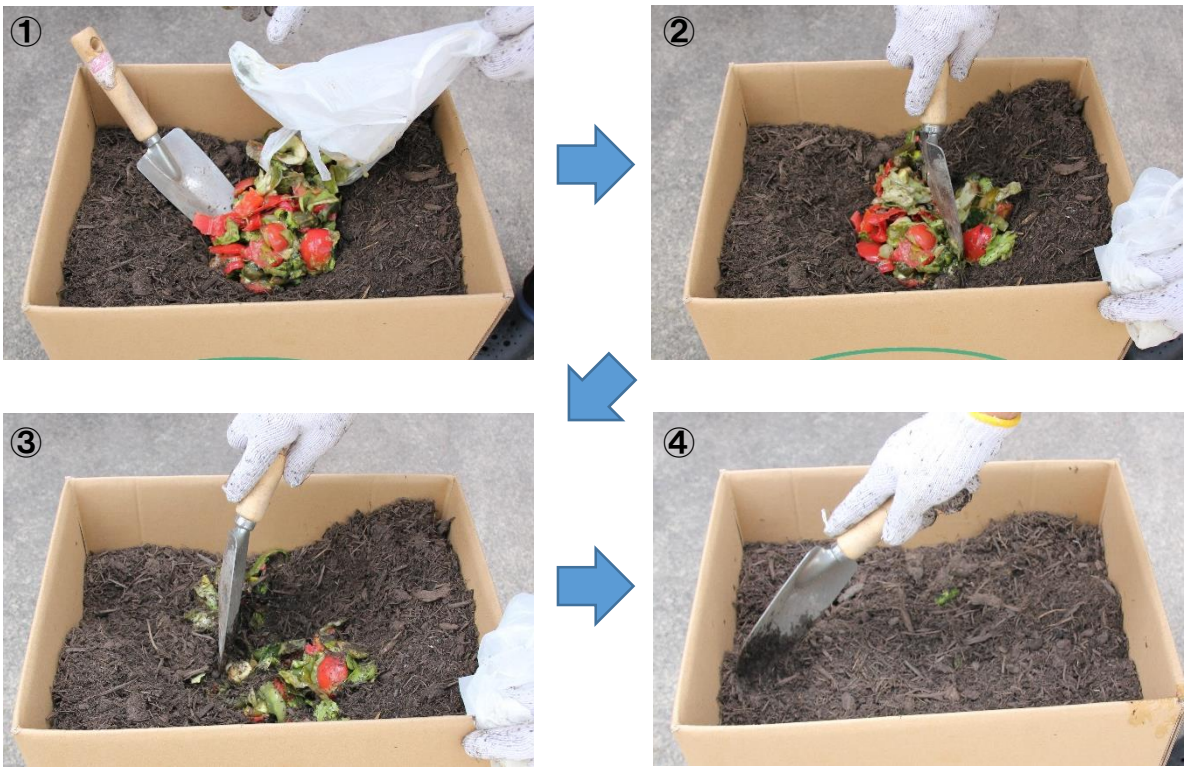
1．ダンボール箱の下側の通気性を確保できるように、付属品の脚（両面テープ付）を本体の底に取り付けてください。ほかにも、通気性を確保できる網目状の台などでも同様の効果が得られます。（例 ビールケース、育苗ポット箱など）

2. ビニール袋の中から、母材をダンボール箱へ移してください。

※ビニール袋は虫の駆除の際に使うので捨てないでください。

Ⅳ. 生ごみを入れてみよう

1. 母材を入れたら、中心部に穴を掘って生ごみを投入します。



ポイント

- １日の投入量は、500g を目安としてください。
- 生ごみは小さくした方が分解しやすくなります。
- 塩分の多いものは大量に投入しないでください。
- 肉、魚は臭いが出やすいので、少量の投入をおすすめします。

分解しやすいもの	ご飯、野菜くず、果物（実の部分）肉、魚、お茶がら、コーヒーがら、廃食用油、米ぬか等
分解しにくいもの	卵の殻、果物の皮（特に柑橘系）、根菜類の皮、甲殻類の殻
分解しないもの	骨、種、栗の殻、たまねぎの外皮、タケノコの皮、トウモロコシの芯、貝殻

2. 投入した生ごみと、母材がよく混ざるように、手（ゴム手袋着用）やスコップを使いかき混ぜます。なお、手でかき混ぜる際には魚の小骨などが刺さらないように注意してください。

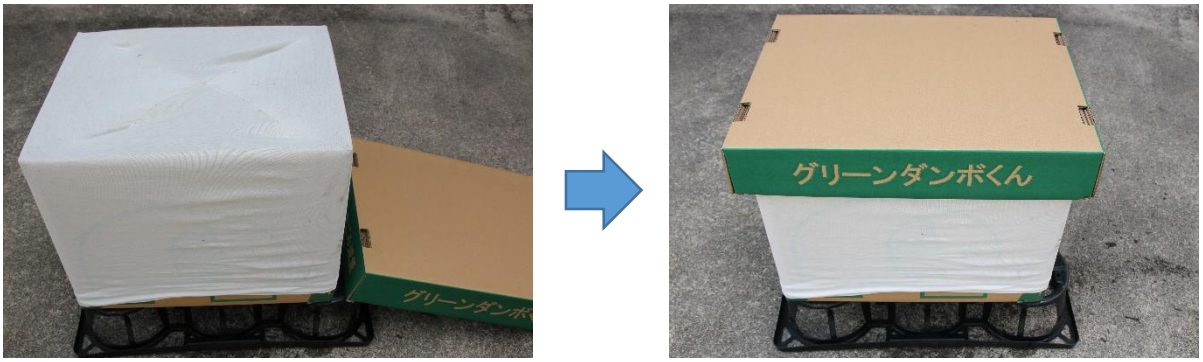
ポイント

- 生ごみを投入したら、可能な限り毎日混ぜ返します（天地返し）。
- 生ごみが母材の表面に出ないようにしてください。

3. よくかき混ぜたら、虫よけ布キャップをかぶせて、ダンボールの蓋をします。

ポイント

- ハエが卵を産み付けないよう、かき混ぜたスコップはダンボール箱の中に入れたままにしてください。



4. 蓋をしたダンボールコンポストは、雨の当たらない場所に置いてください。

Ⅴ．生ごみの分解について

1. 生ごみを投入して、すぐに分解は始まりませんが、約１週間たつと、表面に白い蜘蛛の巣のようなカビが生えたら成功です。（季節により変わります。）

2. カビが生えると、コンポスト内の温度が上昇（約 40℃以上）し、微生物の活動が活発になり、分解しやすいものは、数日で形がなくなります。

Ⅵ．あると便利なもの

1. ビールケース、育苗ポット箱…通気性を確保するとともに、作業効率がよくなります。
2. 棒状温度計…ダンボールコンポスト内の温度を管理します。
3. ゴム手袋、園芸用スコップ…母材をかき混ぜるときに使います。

Ⅶ．こんなときは

1. 悪臭が発生したら…

- 悪臭の原因としては、生ごみの量が多すぎる、肉・魚類の投入量が多すぎることが考えられます。この場合はいったん生ごみの投入をやめ、よくかき混ぜて分解を促しますと、1～2 日ぐらいでおさまります。

2. 虫が発生したら…

- 発生するウジの多くはアメリカミズアブの幼虫です。摘んだりして駆除しますが、大量に発生したら、すべての母材を取り出し、ビニール袋に入れて、空気を抜いて密封し、約１日太陽に当てて駆除します。
- 駆除したら、母材をビニール袋からダンボール箱に戻します。

3. 分解が遅くなったら…

- カロリー不足になっていないか…　カロリーが少なくなると温度が上がらなくなるので、この場合は米ぬか（一握り）や食用廃油（100 cc以下）を入れてください。

- 生ごみと母材がよくかき混ぜられているか…　生ごみと母材をかき混ぜるとき、空気が入り込むよう、大きくかき混ぜると分解しやすくなります。
- 気温が低いのでは…　冬場などで外気温が 10℃以下になると、微生物の活動が低下しますので、いらなくなった毛布をかぶせるなどして、ダンボールコンポストを保温してください。（ビニール袋をかぶせると通気性がなくなってしまい、微生物が生息できなくなります。）
- 母材の取替え時期（3 ヵ月～6 ヵ月）がきたのでは…　母材の全体が灰色なり、塊ができるようになると、分解しなくなるので母材の取替えをしてください。

  なお、母材として使用できるものは、今回使用したもの以外に、ピートモス、黒土などを代用し混ぜ合わせて使うことができます。

  また、使用した母材は堆肥の元にもなります。プランターなどの容器に土と一緒に混ぜて、1 ヵ月ほど熟成させてください。（熟成させない状態で使用すると、土が発酵され植物が枯れる原因になります。）

4. ダンボールコンポストを使わなくなったら…

- 器材（ダンボール箱）…ダンボールに付着した土などを払い落として、解体すれば資源ごみとして再利用することができます。
- 母材…堆肥として使用することができます。なお堆肥化しない方は、『環境ネットせき』が堆肥化など再利用するため引き取りをしますので、次の場所にお持ちいただくか、ご相談ください。

◎持込み（母材のみ）…桜ヶ丘ふれあいセンター　℡ 090-4858-8924（村井）
環境ネットせき　℡ 090-9916-6264（福田）
℡ 0575-29-0057　（　〃　）
環境ネットせき　℡ 080-5120-2103（広瀬）
環境ネットせき　℡ 090-1820-5689（長尾）
※　必ず、事前に連絡をしてください。

Ⅷ. わからないことや困ったときは

下記までお問い合わせください。

1. 環境ネットせき　℡ 090-7305-6911（平田）
℡ 080-5120-2103（広瀬）
2. NPO 法人ふれあいマーケット楽市楽座（関善光寺 茶所「宗久庵」内）
℡ 090-6095-8614（高木）
3. 関市役所 生活環境課
℡ 0575-23-7702